人穴小 学校だより

ふれあい

令和３年　1月7日
富士宮市立人穴小学校
第８号

ＴＥＬ５２－００４０

ホームページ　http://www.fujinomiya-shizuoka.ed.jp/e-school/14hitoana/

学校教育目標　『自らをきたえ　共に生きる子（自尊・他尊・共存）』

あけましておめでとうございます

校長　柏木　武文

３学期が始まり、学校に子供たちの元気な声と笑顔が戻ってきました。今年度も、子供一人一人の成長を願い、保護者の皆様、地域の皆様と積極的に情報交換をしながら教育活動に取り組んで参ります。昨年同様、人穴小学校の教育活動に、ご支援とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年は「丑年」です。「丑＝牛」は古くから食牛や乳牛、耕牛ととして酪農や農業で人々を助けてくれる存在として重要な生き物でした。大変な農業を地道に最後まで手伝ってくれる様子から、丑年は「我慢（耐える）」や「発展の前振れ（芽が出る）」を表す年になると言われているようです。

今年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。昭和39年の東京オリンピック以来ですから半世紀以上の時を経て開催される大きなイベントであり、繁栄や富につながるものだと思います。昭和39年は、人穴小独立の年ですから、本校とも深い関わりを感じます。コロナウイルス感染症については、まだまだ「我慢」が必要かもしれません。しかし、ワクチン接種や治療薬の開発など大きな動き、「発展」が考えられます。学校教育では、１人１台パソコンが整備され、GIGAスクール構想が本格的に動き出します。まさに、新たな教育を始める発展の年、新しい教育の形に挑戦する年と言えるでしょう。

GIGAスクール構想については、12月末に富士宮市教育委員会から配布された、通信環境についての文書にも記載されていましたが、今後、いろいろな形で保護者の皆様にお伝えすることとなります。GIGAスクール構想を簡単にまとめると、「義務教育を受ける児童生徒のために、１人１台の学習者用パソコンと高速ネットワーク環境などを整備する計画」のことです。その目的は「子どもたち一人一人の個性に合わせた教育の実現」です。５年間計画でしたが、コロナの影響で整備が早まった状況です。国をあげて取り組む一大プロジェクトであり、このことにより子供たちの新しい学びの環境が築かれることとなると考えられています。

少し具体的な話をします。今までも、学校でパソコンを活用した授業は行われていました。パソコン室に１クラスで使える数のパソコンはそろっていて、授業の内容によって活用という形が基本です。他の学年が使用していると使えなかったり、毎回パソコン室まで取りに行き、元通りに戻して…というのが現状です。人穴小はネットワーク環境がよくなかったため、使い方にも制限が多かったです。それが、１人１台パソコンの整備により、文房具のようにパソコンを使うイメージに変わります。資料集めやノートづくりは、パソコンで行うことが通常になるでしょう。さらに、子供用教科書のデジタル化が進めば紙の教科書は使わなくなるかもしれませんし、やがてはランドセルにパソコンを入れて持ち帰り、家庭学習や振り返りなどに使用するようにもなるでしょう。もちろん、そのための準備をした上での話です。

富士宮市では、今年度、小中学校の高速ネットワーク環境が整備され、回線の不安は無くなります。そして、１人１台パソコンも今年度内に整備される予定です。学校ではそのための、パソコン本体の保管方法やＩＤやパスワードの管理、使用方法のきまりづくりなどの準備を進めています。

以上のように、学校教育も新しいことが始まる年となります。新しいことに挑戦するときに、不安はつきものです。急激に変わる印象を心配に思うかもしれませんが、子供たちが不安な気持ちを持たないように、準備を整えて、一歩一歩進めていきます。保護者の方々とも必要な情報交換を、これまで以上に行っていこうと考えています。ご協力よろしくお願いいたします。